

第2部 計画の実現に向けた取り組み

第5章 環境意識・行動

基本目標・施策 環境意識・行動の定着

第1節

個別目標・施策 当事者意識の醸成 P54～P57

取組みの柱➤ 幅広い世代への環境教育・啓発を促進します

取組みの柱✕ 環境教育の次世代を担うリーダーを育成します

第2節

個別目標・施策 環境行動の定着 P58～P61

取組みの柱➤ 自発的な環境行動を推進します

取組みの柱✕ 環境行動の次世代を担うリーダーを育成します

取組みの柱➤ 環境行動に向けた周知・広報を推進します



平成30年度「環境ポスター展」小学生の部 最優秀賞
長崎市立横尾小学校5年生 齋藤 茂 さん



サステナプラザながさき
イメージキャラクター
「サステなっちゃん」

第1節

個別目標・施策

当事者意識の醸成

現状・課題

現状

✓ 小・中学校での環境保全行動や省エネ行動の実践がすすんでいる

課題

✓ 市民一人ひとりが当事者意識を持つことが必要

✓ 様々な場面に応じた環境教育・学習の仕組みづくりやけん引する人材の育成が必要

○今日の多種多様な環境問題の多くは、私たちの日常生活や事業活動に伴う環境負荷が大きな影響を及ぼしています。私たちは、このことを認識し、身近にできる環境行動を継続して実践し、1人ひとりが自ら環境問題に取り組んでいかなければなりません。

○そのためには、子どもから大人までのあらゆる世代において、人と環境との関わりについて学ぶ場と機会の創出が必要となります。特に、小さい頃からの自然体験は環境に対する意欲や関心を高めるものと考えています。

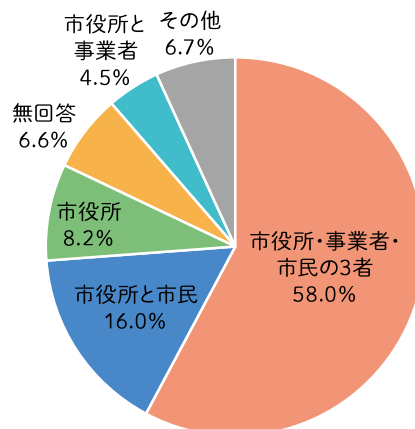
○市役所では、小・中学生の親子を対象とした親子環境教室を例年開催しており、長崎市を流れる美しい川や豊かな緑にすむ多様な生き物を観察することで、生き物の生態やすんでいる自然環境について学んでいます。

○小・中学校においては、環境マネジメントシステム^{※1}の仕組みを取り入れた「ながさきエコスクール」として市内全校が認定され、教科書などで学習した環境保全行動や省エネ行動を実践しています。

○また、『ながさきサステナプロジェクト』として、持続可能な地域づくりを担う人材を育成するため、「サステナプラザながさき（長崎市地球温暖化防止活動センター）」を中心とした市民環境行動の推進と「ながさきサステナスクール（ESD^{※2}）」による環境教育に取り組んでいます。

○さらに、サステナプラザながさきと連携した地球温暖化防止活動推進員^{※3}による出前講座など、地球温暖化対策について市民の理解を深める活動に取り組んでいます。

○今後、市民総参加による環境保全の取り組みを実践していくためには、市民1人ひとりが当事者意識を持つことが必要となります。環境行動は、学校、家庭、地域、職場などのあらゆる場において取り組むものであるため、様々な場面に応じた環境教育・学習の仕組みづくりや、これをけん引する人材の育成が必要となっています。



■あなたは環境をよくするための取り組みをだれが中心となって行うべきだと思いますか？
（市民意識調査アンケートより）

※1 環境マネジメントシステム：

組織や事業者が、その運営や経営の中で自主的に環境保全に関する取組をすすめるにあたり、環境に関する方針や目標を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくための体制・手続き等の仕組みのこと。

※2 ESD：

ESDとはEducation for Sustainable Developmentの略で「持続可能な開発のための教育」の和訳。（詳しくはP56）

※3 地球温暖化防止活動推進員：

地域における地球温暖化の現状や地球温暖化対策に関する知識の普及、地球温暖化対策の推進を図るための活動を行う市民の環境活動のリーダー。



■親子環境教室の様子



■親子で省エネ実験・施設見学会の様子



■ペンギン水族館(田植えボランティア)の様子



■体験の森(親子キャンプ)の様子

コラム 「ながさきサステナプロジェクト」とは？

市役所では、市民の自発的かつ継続的な環境行動を促進するため、持続可能な地域づくりを担う人材を育成することを目的として、平成28年度から『ながさきサステナプロジェクト』と称して、「サステナプラザながさき」と「ながさきサステナスクール」に取り組んでいます。

～サステナプラザながさき～

「サステナプラザながさき」は、環境について気軽に学び、情報収集をすることができる施設です。

身近な暮らしの中でできる簡単な省エネのコツやエコクッキングなどを学べる講座も定期的を開催しています。Wi-Fi設備等もありますので、ぜひお気軽にお越しください。(場所：長崎市万才町10-16パーキングビル川上2F)



～ながさきサステナスクール～

市役所では市内小中学校に向けて「環境団体との連携によるESD講座」を行っており、環境団体を講師とした環境講座を行っています。

川の生きものの調べなど、児童・生徒が実際に体験しながら環境について学ぶことで、より深く学ぶことができるような講座となっています。

個別目標・施策

当事者意識の醸成

取組みの柱➤ 幅広い世代への環境教育・啓発を促進します

取組みの柱➤ 環境教育の次世代を担うリーダーを育成します



取組みの柱➤ 幅広い世代への環境教育・啓発を促進します

市民・団体の取組み

環境行動		行動による効果
	環境について学びます	環境に関する知識を深めます
	レジャーは豊かな自然に触れられる場所を選びます	自然環境を体験します
	環境に関する講座やイベントに参加します 環境について学んだことを家庭で話し、実践します	身近な環境を体験します 環境意識を周囲に広げます
	環境に関する講座やイベントを開催します	環境意識を周囲に広げます

事業者の取組み

- 職場研修などで環境保全活動について理解を深めます
- 環境に関する講座やイベントを開催・参加します

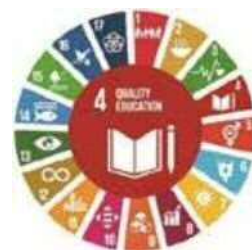
市役所の取組み

- 環境に関する講座やイベントを開催します
- サステナプラザながさきと連携して、環境に関する情報をわかりやすく発信します
- 環境教育・学習のカリキュラムの充実を図ります
- 親子環境教室など体験型環境学習の充実を図ります

コラム 「ESD」とは？

ESDとは平成14年の「持続可能な開発に関する世界首脳会議」で我が国が提唱した考え方であり、Education for Sustainable Developmentの略で「持続可能な開発のための教育」と訳されています。

今、世界には気候変動、生物多様性の喪失、資源の枯渇、貧困の拡大等人類の開発活動に起因する様々な問題があります。ESDとは、これらの現代社会の問題を自らの問題として主体的に捉え、人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、身近なところから取り組むことで、持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動です。



■ESDはSDGs17の全ての目標実現の鍵
(出典:文部科学省)



取組みの柱 環境教育の次世代を担うリーダーを育成します

市民・団体の取組み

環境行動	行動による効果
 環境について学びます	環境に関する知識を深めます
 環境に関する情報を収集・発信します	環境に関する知識を深めます 環境意識を周囲に広げます
 環境に関する講座やイベントに参加します 環境に関する団体やサークルに加入し、活動します 自治会などの地域の講座やイベントに参加します	身近な環境を体験します 環境意識を周囲に広げます
 環境に関する講座やイベントを開催します	環境意識を周囲に広げます

事業者の取組み

- 環境に関する講座やイベントを開催・参加します

市役所の取組み

- 環境に関する講座やイベントを開催します
- サステナプラザながさきと連携して、環境に関する情報をわかりやすく発信します
- 環境教育・学習のカリキュラムの充実を図ります
- 親子環境教室など体験型環境学習の充実を図ります
- 多様な主体と連携して、環境学習の機会を提供します

成果指標

○環境活動に参加した市民の割合



37.8%
(令和2年度)

57.8%
(令和12年度)

○環境学習等への参加者数



29,678人
(令和元年度)

35,800人
(令和12年度)

第2節



個別目標・施策 環境行動の定着

現状・課題

現状

- ✓ 「ながさきエコネット」「アダプトプログラム」制度、「サステナプラザながさき」と連携して、市民の身近な環境行動を促進する取組みをすすめている

課題

- ✓ 新たな層の掘り起こしをすすめていくことが必要
- ✓ 日常生活の中で自然にエコなライフスタイルが定着することが必要

○私たちが環境にやさしいライフスタイルへの転換を図るためには、市民一人ひとりが環境について関心を持ち、理解を深め、自ら環境に配慮した行動を継続することが重要です。

○平成22年には、多様な活動団体が学び支え合う仕組みである市民ネットワーク「ながさきエコネット」を市民、団体、市役所の共同で設立し、市民一人ひとりの環境行動実践につなげる取組みを行ってきました。

○また、「アダプトプログラム」制度を導入し、市民や事業者と市役所との協働による、環境美化活動にも取り組んでいます。平成28年には、「サステナプラザながさき（長崎市地球温暖化防止活動センター）」を開設し、環境行動の推進役として市民の身近な環境行動を促進する取組みをすすめています。

○これらの取組みも、活動団体の高齢化や新型コロナウイルス感染症拡大等による活動の制限がすすんでおり、今一度一人ひとりの取組みの定着が求められています。

○そのためには、幅広い世代を対象としたSNSなどを活用し、生活スタイルなどターゲットに応じた効果的な情報を発信することで行動を起こす新たな層の掘り起こしにつながる取組みをすすめていく必要があります。

○環境に触れる機会が増えることにより、各主体の環境行動の底上げにつなげ、日常生活の中で自然にエコなライフスタイルが定着していることを目指します。



■環境行動の例(出典:環境省)

個別目標・施策

環境行動の定着

取組みの柱➤ 自発的な環境行動を推進します

取組みの柱➤ 環境行動の次世代を担うリーダーを育成します

取組みの柱➤ 環境行動に向けた周知・広報を推進します



取組みの柱➤ 自発的な環境行動を推進します

市民・団体の取組み

環境行動	行動による効果
 環境に関する情報を収集・発信します	環境に関する知識を深めます 環境意識を周囲に広げます
 レジャーは豊かな自然に触れられる場所を選びます	自然環境を体験します
 家やまちの緑を大切にします	身近な自然を大切にします 身近な環境を育てます
 環境に関する講座やイベントに参加します 環境に関する団体やサークルに加入し、活動します 自治会などの地域の講座やイベントに参加します	身近な環境を体験します 環境意識を周囲に広げます
 環境に関する講座やイベントを開催します	環境意識を周囲に広げます

事業者の取組み

- 環境認証規格の取得（ISO14001やエコアクション21）など、環境に配慮して事業をすすめます
- 自社の環境への取組みを外部へ積極的に発信します
- 環境に関する講座やイベントを開催・参加します
- 植樹・緑化の取組みを実施します

市役所の取組み

- 環境に関する講座やイベントを開催します
- 児童や生徒が環境について学んだことについて広く発信します
- サステナプラザながさきと連携して、環境に関する情報をわかりやすく発信します
- サステナプラザながさきと連携して、環境に関する人材ネットワークを拡げます
- 公園や公共施設の緑化をすすめます



取組みの柱❖ 環境行動の次世代を担うリーダーを育成します

市民・団体の取組み

環境行動		行動による効果
	環境について学びます	環境に関する知識を深めます
	環境に関する情報を収集・発信します	環境に関する知識を深めます 環境意識を周囲に広げます
	環境に関する講座やイベントに参加します 環境に関する団体やサークルに加入し、活動します 自治会などの地域の講座やイベントに参加します	身近な環境を体験します 環境意識を周囲に広げます
	環境に関する講座やイベントを開催します	環境意識を周囲に広げます

事業者の取組み

- 環境に関する講座やイベントを開催・参加します

市役所の取組み

- 環境に関する講座やイベントを開催します
- サステナプラザながさきと連携して、環境に関する情報をわかりやすく発信します
- サステナプラザながさきと連携して、環境に関する人材ネットワークを拡げます
- 親子環境教室など体験型環境学習の充実を図ります
- 多様な主体と連携し、専門知識を有する人材が地域で活躍できる場を広げます



取組みの柱❖ 環境行動に向けた周知・広報を推進します

市民・団体の取組み

環境行動		行動による効果
	環境に関する情報を収集・発信します	環境に関する知識を深めます 環境意識を周囲に広げます
	環境に関する講座やイベントを開催します	環境意識を周囲に広げます

事業者の取組み

- 環境に関する講座やイベントを開催・参加します
- 自社の環境への取組みを外部へ積極的に発信します

市役所の取組み

- 環境に関する講座やイベントを開催します
- サステナプラザながさきと連携して、環境に関する情報をわかりやすく発信します

成果指標

○環境保全団体メンバー数

59,283人
(令和2年度)64,300人
(令和12年度)

「ながさきエコライフ」の取組み(平成22年度～)

「だれでも」「いつでも」「簡単に」エコライフ!をテーマに市民総参加の環境行動実践につなげるための取組み。

- ・エコライフのきっかけづくりとなる、気軽に楽しめる環境イベントである「エコライフ・フェスタ」
- ・家庭・職場・学校・地域など様々な場所でエコ行動を実践する「エコライフ・ウィーク」
- ・ウィーク以降の継続行動として「ながさきエコネット」に参加し、エコ宣言して、楽しく継続するの3つによって市民一人ひとりの環境行動実践につなげる取組みを行ってきました。



エコライフ・フェスタの様子



エコライフ・ウィークのチラシ

ながさきエコネット設立
セレモニーの様子

「ながさきサステナプロジェクト」(平成28年度～)(P55を参照)

市役所では、市民の自発的かつ継続的な環境行動を促進するため、持続可能な地域づくりを担う人材を育成することを目的として、平成28年度から『ながさきサステナプロジェクト』に取り組んでいます。

長崎市版「COOLCHOICE」
普及促進事業(平成28年度～)

クールチョイスとは、温暖化対策に資する「賢い選択」を促す国民運動のことで、例えば、エコカーを買う、エコ住宅を建てる、省エネ家電に買い換えるといった選択をしているという取組みです。

市役所でも市内事業者と連携してエコカー展示会や住宅フェアを実施し、消費行動の変容について広く啓発を行ってきました。

海洋プラスチックごみ
対策推進事業(令和2年度～)

近年、特に海洋中のマイクロプラスチック(5mm以下の微細なプラスチック)が生態系に及ぼす影響が懸念されるなど、国際的な課題になっており、SDGsの一つにも掲げられています。

長崎市の海岸でもごみ問題は深刻であり、市民団体と連携した海岸清掃や、啓発ツールの作成などを行い、海洋プラスチックごみ削減に向けて広く市民への啓発を行ってきました。



